



▶大阪 ▶採用案内 ▶アルバイト募集 (東京・大阪・福岡)
▶イベント ▶SNSアカウント ▶編集・専門委員のコラム ▶新製品

野球 | サッカー | 格闘技 | スポーツ | 五輪 | 社会 | 芸能 | ギャンブル | ショッピング | グラビア | パチ&スロ | クルマ

| 記者コラム | プロ野球 | MLB | 高校 | 社会人 | 代表 | 大学 | 女子 | 木田画伯 | カレッジスポーツ

ホーム > 野球 > 2016年10月9日

◀ 前のニュース

次のニュース ▶

PR :

巨人 ファイナル逆王手！長野が執念のV打 坂本2戦連発

セ・リーグCSファーストS第2戦 (2016年10月9日 東京D)



<巨・D> 8回2死一、三塁、勝ち越し適時打を放つ長野。投手・三上
Photo By スポニチ

セ・リーグのクライマックスシリーズ (CS) ファーストステージ (3試合制) 第2戦が9日、東京ドームで行われ、9日の第1戦を落としたレギュラーシーズン2位の巨人が、CS初出場で3

位のDeNAに2-1で勝利。対戦成績を1勝1敗のタイに持ち込み、ファイナルステージ進出へ逆王手を掛けた。

巨人・田口、DeNA・今永による息詰まる投手戦。先制点を奪ったのはDeNAだった。2回2死一、三塁、打者・今永の時、田口の暴投で三走・白崎が生還。しかし、巨人は3回、2死走者なしから坂本が2試合連続本塁打となる左越えソロ本塁打を放って同点とし、試合はこう着状態に。

均衡が破れたのは1-1で迎えた8回。巨人は先頭の坂本が右中間を破る二塁打で出塁。代打・寺内の犠打、阿部の敬遠などで2死一、三塁として、長野が中前に落ちる適時打を放って勝ち越しに成功した。

先発の田口が7回4安打1失点でしのぐと、2番手・マシソンが2回を無失点に抑えて逃げ切った。

DeNAは先発・今永が7回2安打1失点としたが、得点は相手のバッテリーエラーによる1点のみ。打線がルーキーの好投に応えられなかった。【試合速報】



ニュースランキング (野球)

- 1 ドジャース、逆転勝利で逆王手！マエケン一番で好救援
- 2 グリエル、WS出場停止にならなかった理由…コミッショナー
- 3 【追球】痛恨の捕球ミス…“最低限”を選択できなかった…
- 4 DeNA浜口 8回1死までノーヒット投球！鶴岡に初…
- 5 大谷移籍先は？米メディア番記者5人はこう見る

※集計期間：11月01日21時～22時

» 続き